

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期鱒ヶ沢町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県西津軽郡鱒ヶ沢町

3 地域再生計画の区域

青森県西津軽郡鱒ヶ沢町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、合併時の昭和30（1955）年の23,026人から一貫して減少傾向となっており、住民基本台帳によると令和7（2025）年度末には8,161人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045年には総人口が3,959人となる見込みである。

年齢3区分別人口割合の推移をみると、老年人口が増加し続け、2045年には老年人口が全体の64.9%となる一方、生産年齢人口が全体の31.0%まで減少することが予想されている。

自然動態をみると、出生数は昭和47（1972）年の322人以降、減少の一途をたどっている一方、死亡数は増加している。平成2（1990）年に死亡数162人が出生数140人を上回る自然減に転じ、令和7（2025）年には、出生数13人、死亡数20人となっている。

社会動態をみると、転入数が転出数を上回ることなく社会減が続いており、令和7（2025）年には転入数163人、転出数204人と、依然として社会減となっている。特に10～19歳、20～29歳の転出者が多く、大学等への進学や就職、結婚等の影響が考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域産業・地域経済においては、これまで就業者数は減少傾向で推移していたが、生産年齢人口の減少に伴い、就業者数は今後も減少傾向で推移することが予想され、高齢化や担い手不足により、今

後、事業の経営・継続が困難になることが懸念される。

地域社会への影響としては、さらに過疎化が進行すると推測され、地域文化や自然環境にも悪影響を及ぼし、住民が暮らしていく上で不便が生じるとともに各種コミュニティ活動の停滞も予想されるほか、災害時の相互扶助機能の低下等も懸念される。

これらの課題に対応するため、すべての住民が健康で安心して暮らせる環境の充実を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、地域経済の活性化や安定した雇用の創出を図ることで社会減に歯止めをかける。加えて、人口減少下にあっても持続可能な地域社会を持続するため、DXの活用等による行政と暮らしの効率化を推進する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 地域経済の好循環
- ・基本目標 2 生活基盤の充実
- ・基本目標 3 持続可能なまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業者の新規就業者数	1 人	2 人	基本目標 1
	漁業者の新規就業者数	0 人	1 人	
	農業者・農業関連事業者 が取得した各種認証件数	5 件	8 件	
	漁業者・水産関連事業者 が取得した各種認証研修	1 件	3 件	
	観光客入込者数	384, 205人	403, 400人	
	宿泊者数	87, 811人	92, 200人	
	外国人観光客の入込者数	51, 841人	54, 400人	

	観光担当SNS等発信回数	198回	300回	
	事業継承マッチング成立件数	累計0件	累計5件	
	津軽港の船舶入港数	95隻	100隻	
	町が設置する各種委員会等における女性委員の割合	36.8%	40.0%	
イ	出生率	1.8‰	1.8‰	基本目標2
	地域の子育て支援拠点事業の年間延べ利用者数	260人	170人	
	AIマッチングシステム登録者数	9人	15人	
	メタボリックシンドローム該当者の割合	27.3%	17.0%	
	特定保健指導実施率	28.8%	70.0%	
	重層的支援体制整備事業で受けた相談のうち、終了した件数	15件	24件	
	要介護認定率	17.8%	17.4%	
	認知症サポーター数	1,525人	1,685人	
	歴史・文化関連施設の年間入館者数	997人	1,200人	
	全国学力・学習状況調査における平均正答率	61.8%	65%	
	鱚ヶ沢高校の入学者数	28人	30人	
	コミュニティバスの年間利用者数	39,765人	40,000人	
	危険空家の除却・改善延べ件数	累計26件	累計55件	

	自主防災組織数	18団体	23団体	
ウ	広報担当SNSフォロワー数	2,228人	3,000人	基本目標3
	ふるさと納税の寄附件数	18,122件	20,000件	
	移住支援金の交付件数	累計2件	累計8件	
	空き家バンク年間成約件数	1件	3件	
	再生可能エネルギー発電施設の合計発電容量	420kW	71,820kW	
	行政手続きのオンライン利用件数	500件	1,500件	
	マイナンバーカード保有率	82.2%	90%	
	友好協定に基づく共同イベント・事業の実施数	2件	2件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

鰯ヶ沢町まち・ひと・しごと創生事業

ア 地域経済の好循環事業

イ 生活基盤の充実事業

ウ 持続可能なまちづくり事業

② 事業の内容

ア 地域生活の好循環事業

地域経済の活性化と安定した雇用の創出による経済の好循環を目指して、本町の基幹産業である農林水産業・観光業の振興と新産業の育成を推進する。

【具体的な事業】

- ・農林水産業の担い手育成と高付加価値化の推進
- ・観光コンテンツの充実と受入体制の強化 等

イ 生活基盤の充実事業

地域で子どもを産み育て、すべての町民が健康で安心して暮らせる環境の実現を目指して、子育て・健康・福祉・教育・生活環境の各分野にわたる総合的な基盤づくりを推進する。

【具体的な事業】

- ・結婚・出産・子育ての切れ目ない支援
- ・健康寿命の延伸 等

ウ 持続可能なまちづくり事業

人口が減少しても持続可能な地域社会を維持するため、移住・定住の促進や関係人口（ファン）の拡大により地域の活力を高めるとともに、D X・G Xの活用や広域連携を通じた行政と暮らしの効率化を推進する。

【具体的な事業】

- ・関係人口・交流人口の拡大とコミュニティ維持
- ・移住・定住の促進 等

※なお、詳細は第3期まち・ひと・しごと創生鯉ヶ沢町総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,250,000 千円（令和8年度～12年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月、外部有識者で組織する鯉ヶ沢町総合政策審議会において、本事業のK P Iによる効果と今後の事業の方針について検証を行い、検証後、鯉ヶ沢町公式ホームページ内で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和 13 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和 13 年 3 月 31 日まで